

女性活躍推進フォーラム

「論理的思考」を勉強の18人「全5回」のスタート

人材育成委員会主催の今年度第1回「女性活躍推進フォーラム」が5月26日、東京・日本橋三洋グループビル8階の会議室で開かれた。ホール企業を中心に、女性正規社員18人（1社1人）が参加した。

冒頭、前田竜哉委員長は「女性が考案して世の中に活力を与えたヒット商品はいっぱいある。業界としては2020年に目標を置いて、女性活躍を推進していくつもりです」とあいさつした。

4グループで討議

男性は左脳（論理・理屈）が優位といわれます。女性は枝葉から話し始めてしまう傾向があり、男性には何の話だか見えないことになります。まず全体（結論）の話をし、次いで小項目、次いで具体的な詳細へと進むように習慣づけることは、男性の多い職場では必須です」とアドバイスした。

ク）、加藤千晃（ピーアークホールディングス）、崎田亜美（メッセ）
Bグループ＝佐藤綾香（東和産業）、小林美和（NEXUS）、小倉綾夏（平成観光）、岡田歩惟（山佐産業）
Cグループ＝杉山理々（ABC）、小原澤敦子（テラスホールディングス）、宮城彩奈（日進）、久保麻里菜（日拓ホーム）、甲斐絵里子（マルハン）
Dグループ＝新井唯（オートク）、時直子（サンキュー）、原田穂乃佳（ジャパニニューアルファ）、湊奈津希（ジャパニネットワークシステム）



勢ぞろいした18人の参加者と補佐する人材育成委員会のメンバー

守屋擁氏が講演

18人は今回と7月8日、10月13、14日、来年1月27日の全5回のフォーラムを通して参加する。4グループ（4〜5人）に編成され、「キャリアプランニング」「ワークライフバランス」の2つのテーマに沿って企画を練り上げる。1月27日に成果を発表し、その企画を各自が持ち帰って自社の風土を変えていくことが目標の1つ。

実務セミナーでは、ホールの研修・教育・実践指導を行っているデライト・コミュニケーションズ（株）、守屋擁氏が「女性のためのロジカルシンキング」のタイトルで約2時間講演した。守屋氏は、「女性には右脳（感情・感性）が優位だが、

業界先輩社員のスピーチとして、参加者の中から湊奈津希氏（ジャパニネットワークシステム（株））が登壇した。湊氏は女性をゴリラに喩え「女性には3つの強みがあります。細かいことに気づく気配り、共感する能力の高さ、親睦性で、ゴリラの性質と同じで、この3つを表現していけば対男性にも対女性にも仕事しやすいとなると心掛けています」と述べた。この後グループディスカッションに移り、4グループは割り振られたテーマの中で実現したい企画を絞り、今後の進め方、役割分担などを協議した。

□フォーラムの参加者
（順不同、敬称略、（株）略）
Aグループ＝大楠友里（愛和食品）、櫻井詩織（善都）、戸田有希乃（ニラ



企画内容を決めるグループディスカッション



ロジカルシンキングを講演する守屋擁氏